

No.14-16

2014年3月31日
エーザイ株式会社

米国子会社エーザイ・インクが DNA メチル化阻害剤「Dacogen[®]」の権利を大塚製薬へ譲渡

エーザイ株式会社(本社:東京都、代表執行役社長:内藤晴夫)は、このたび、米国子会社であるエーザイ・インクが DNA メチル化阻害剤「Dacogen[®]」(一般名:デシタビン、以下 本剤)に関するメキシコを除く全世界における開発・販売に関する権利、および代謝酵素阻害剤「E7727」の特許権を大塚製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:岩本太郎、以下 大塚製薬)に譲渡する契約を締結しましたので、お知らせします。

本契約に基づき、エーザイ・インクは、大塚製薬に対して、本剤に関する米国、カナダ、日本における独占的な開発・販売権および、メキシコを除くその他の全世界におけるライセンス許諾の権利を譲渡します(メキシコについては、エーザイ・インクが本剤の権利を引き続き維持します)。

本剤は、DNA メチル化阻害による細胞分化誘導作用を有する骨髄異形成症候群(MDS)治療剤であり、大塚製薬の米国子会社であるアステックスファーマシューティカルズインク(旧スーパージェン社)により開発され、2008年にエーザイ・インクが全世界における独占的な開発・製造・販売権を保有していました。

今回の譲渡により、本剤の開発元である大塚製薬グループが独占的な開発・販売権を有することで、本剤の製品価値および患者様価値の最大化につながる事が期待されます。また、当社は、本剤に係るリソースを中長期的な成長分野に戦略的に再配分し、患者様とそのご家族の多様なニーズの充足とベネフィット向上に、より一層貢献していくことをめざしてまいります。

以上